

DCMスタッフの くらしのアイデア大公開!!

Do Create My

ヘリンボーンカフトレ

おしゃれなヘリンボーン模様に
挑戦しましょう!!



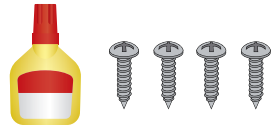
どんな色にするかで
雰囲気ががらりと変
わります。

WEBでもレシピ公開中
レシピ一覧はコチラ

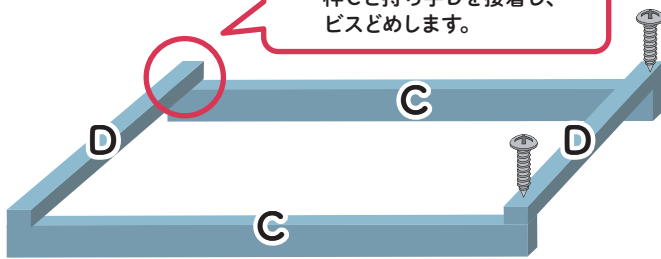


6 組み立てる

① 持ち手Dの両端に接着剤を塗り、枠Cの両端に貼り付ける。



枠Cと持ち手Dを接着し、
ビスどめします。



② ①で貼り付けたところに下穴をあけ、35mmスリムビスを打ち込んで固定する。

35mm スリムビス



③ ⑤でできた底板をはめ、枠Cの外側から下穴をあけ、35mmスリムビスで固定します。



7 全体にヤスリをかける

全体的に紙ヤスリでしっかりヤスリ掛けをすると、
おしゃれなアンティーク風に仕上がります。



完成!!



材料

- ベニヤ板 4×300×450mm
 - SPF材 1×4×3F
 - 杉材 14×90×1820mm
 - 35mm スリムビス
- ※杉材は、厚さ20mmまでの木材なら他のものを使ってもかまいません。

準備小物

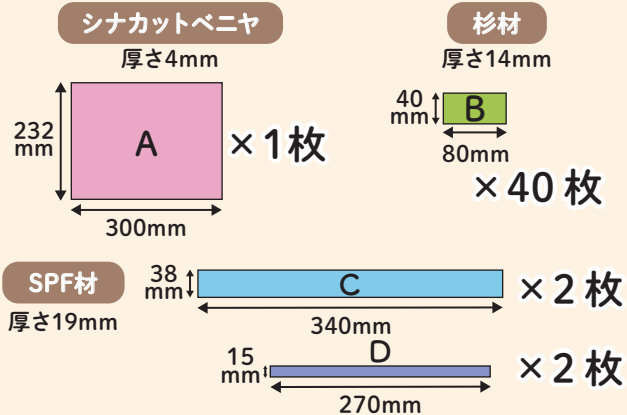
- 電動ドリルドライバー
- プラスビット +2
- 下穴用ビット 2.5mm
- 紙ヤスリ (#120)
- さしがね
- のこぎり
- えんぴつ
- クランプ
- 塗料 (WAX系がおすすめ)
- ウエス (ポロ布)

作り方

1 木材カット

木材を下のようにカットします。

木取り図



- A (底板) : 4×232×300mm 1枚
- B (ヘリンボーン用) : 14×40×80mm 40枚
- C (枠) : 19×38×340mm 2枚
- D (持ち手) : 19×15×270mm 2枚

2 塗装する

①ヘリンボーン用木材B・36枚を、1色につき12枚ずつ、3色に分かれるように塗装します。



ポイント

WAX系の塗料で塗ると自然な仕上がりになります。

- ②①と一緒に枠Cと持ち手Dも塗装する。
- ③WAXで塗装した場合は、必ず最後からぶきし、余分なWAXをとります。

3 デザインを決める

底板Aの上に、ヘリンボーン柄になるように木材Bを仮置きして、デザインを決めます。



4 ボンドで貼り付ける

①デザインが決まったら、木材Bに接着剤を塗って順番に底板Aに貼り付けます。



ポイント

接着剤は厚塗りすると乾きにくくなるので、なるべく薄く塗りましょう。

②貼り付けたらしっかり圧着し、よく乾かします。重しを置いても効果的です。

5 はみ出た部分を切断する

ボンドが乾いたらひっくり返し、クランプで作業台にしっかり固定した状態で、底板Aからはみ出している木材Bをのこぎりで切り落とします。



切断面はしっかりヤスリ掛けてバリをとりましょう。

底板A

木材B